

# メルマガ ～美人ショップ店員の連絡先を訊き出す～

【主な内容】 メール講座の方向性をバシッと指し示す

【1】 件名

※△△

---

○○

---

どうも、TAKUMI です。

この度は、どこの馬の骨とも分からない  
僕の電子書籍を受け取っていただき、ありが  
とうございました。

これから、  
登録してくれたあなたに「メール講座」という名  
目で  
毎日1通ずつ、メールをお送りしていきます。

この講座では、昨日お届けした電子書籍、

「美人ショップ店員の連絡先をスマートに訊き  
出す技術」

についての、さらに深掘した内容をお届けしま  
す。

イメージとしては、あの電子書籍で  
美人店員から好かれるための知識・技能におけ  
る  
表面的な理解をしてもらい、

このメール講座で、  
それを“立体的な理解”へと落とし込む、といっ  
た感じです。

例えば、

第一印象を整えましょう

と言われても、

「具体的に何をすればいいの？」

という部分は、あの書籍では  
触れていません。

ですから、  
そうしたもっと具体的な部分を、  
このメール講座でお伝えしていきます。

...

もしあなたが、

- ・美人ショップ店員と仲良くなることができない。

- ・どこか、避けられているように感じる…。

そう思うのであれば、それにはちゃんとした原因があります。

世の中には、女性から、特に美人女性から

「人としてはいいんだけど、付き合うのはちょっと…」

と思われる、すごく残念な男性がいます。

「悪い人じゃないんだけど…」

いわゆる「いい人」というやつです。

これが、あなたの場合にも起こっている可能性が高いんですね。

…と、のっけから偉そうに言ってる僕ですが、僕も、かつてはそんな人間に部類される側でした。

そんなにタイプではない女性から好かれることはあっても、

ドタイプ美女からは、いつもやんわりとスルーされるような感じ。

男だったら、  
誰もが二度見するようなキレイな女性を惚れさせたい

と思うのが、本心本音だと思うんですね。

だから、

美人のショップ店員がいれば、  
頑張ってアプローチをかけていたわけですが、

それをすればするほど、  
いつもドツボにハマってしまい、自爆する。

お決まりのパターンでした。

それがトラウマになって、

すごく美人で、

みんなから人気があるだけで、すぐに諦めそうになる自分が

嫌で、嫌で、たまりませんでした。

そして、

そんな子に限って、必ず彼氏がいます。

さらに、彼氏でもない

モテなさそうなバイト仲間や同僚の男共も、いつもその子の周りに付きまとっています。

それを見ていると、

マジで腹が立っていたものです。

「あいつが彼氏かー」（←普通に、ムカつく。）

「バイト仲間だからって理由で、デレデレした顔で話しかけてんじゃねー！」

「あの女もあの女だ！ この俺に見向きもしないなんて！」

かつての僕は、プライドが高いたいで、

「惚れたあの子を振り向かせることなんて、無理だ…」

と、いつも勝手に諦めているような男でした。

↑

マジで、イケてません。。

本当の恋愛強者は、

- ・ 彼氏がいるから
- ・ 人気があるから
- ・ 落とすのが難しいから

なんて理由で、

絶対に、諦めたりはしません。

極めて計算高く、

そしてしたたかに、

狙った女性と接点を持ち、

ごく自然な出逢いを演出し、

知らず知らずのうちに、その女性のハートを射  
止め

こちら側に、寄せていく。

そして、ゲットする。

これが、本当の恋愛強者です。

つまり、いい人どまりの人たちとは、  
真逆にいる人たちですね。

僕が思うに、

あなたもこうなるべきだと思うんです。

狙った美人ショップ店員を惚れさせ、

連絡先を交換し、

その後に重ねたデートの中で、

「あなたがいないと、私生きていけない…」

なんて言わせられたら、

どんなに満足できるか、想像してみてください。

…思わず、よだれが出てきませんか？

というのは、大げさだったとしても、

めちゃくちゃ嬉しいことには、変わりないはず  
です。

そうなるためには、まず、  
美人ショップ店員について、理解を深める必要  
があります。

彼女たちのことをたくさん知り、  
良き理解者となれば、

多くのモテない男から言い寄られている女性だ  
からこそ、  
取るべき戦略も見えてくるようになります。

- ・どんな第一印象を演出するべきなのか？
- ・どんなふう to 接点を持てば、相手は喜ぶか？
- ・どんなふう to 誘ってあげれば、相手は応えやすいか？

そうした部分が、  
逆算して分かるようになってきます。

電子書籍の中でも、  
美人ショップ店員の心理について、話したつもりですが、

あれは、表側の心理であって、  
まだ、“裏側”の心理については話していません。

彼女たちは、  
実にドス黒く、エゲツイことを考えています。

「可愛い天使だ」

とあって、舐めていたら痛い目を見ます。

そうした部分を隠すためにも、  
簡単には、男に心を開かないでいるのです。

しかし、  
そうした闇の部分まで理解し、  
彼女たちにとって良き理解者になれば、

美人ショップ店員、いや、  
どんな場所に出会った美人からも、マジでモテ  
るようになります。

そんな、

極めて価値の高いものを明日、お届けしますので、

どうぞ、お楽しみに。

TAKUMI